

放射性物質全域調査及び土壌回収作業進捗状況(平成17年12月)

実施項目		実績(12月)	予定(1月)
所内 全域 調査	1. 第1次調査	調査結果に関する近隣住民への説明会開催(12月10日)	
	2. 第2次調査	調査対象場所にある仮置き土の所外搬出	同左(調査は平成18年4月から開始予定)
土 壌 回 収 作 業	1. 回収計画立案	回収作業手順の検討	回収作業計画書の作成
	2. 準備作業		旧核燃料試験研究施設整備で使用した資機材の点検・整理
	3. 回収作業		(平成18年4月から開始予定)
そ の 他	1. 環境モニタリング	空間線量当量率及び空気中の放射性物質濃度の測定。地下水の採取と分析	同左
	2. 放射性廃棄物量	12月31日現在、200リットルドラム缶152本、1.5m ³ 角型容器2,756個、2m ³ 角型容器828個。200リットルドラム缶換算で合計29,102本。なお、NDC社の放射性廃棄物量は、1.5m ³ 角型容器で1,180個(200リットルドラム缶換算8,850本)	

以上